

根釧の経済概況（令和5年3月末基準）：根室管内

◎根室管内水揚量は28千tで前年同期比15.8%減少。金額は81億29百万円で同16.2%増加。

①根室管内総水揚高（各年1～3月）

根室市			根室管内3町		根室管内合計			
	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	金額(百万円)	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R 5	6,295	2,100	21,995	6,029	28,290	+15.8%	8,129	+16.2%
R 4	4,879	2,067	19,551	4,925	24,430	▲14.6%	6,992	▲8.3%
R 3	6,301	2,378	22,308	5,253	28,609	+20.2%	7,631	+30.6%
R 2	6,347	2,104	17,451	3,735	23,798	▲13.6%	5,839	▲26.1%
R 1	7,393	2,584	20,171	5,320	27,564	▲3.5%	7,904	±0.0%

②スケソノ漁（羅臼 各年1～3月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R 5	4,357	+19.8%	513	117
R 4	3,635	+68.0%	357	98
R 3	2,163	+92.1%	322	148

③ホタテ漁（野付・標津 各年1～3月）

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	単価(円/kg)
R 5	11,244	▲13.1%	4,301	383
R 4	12,947	▲24.4%	3,646	282
R 3	17,135	+42.5%	4,171	243

・羅臼スケソノ漁は、数量4,357t、金額5億13百万円で数量・金額ともに前年同期比増加。
 ・野付・標津 ホタテ漁は数量11,244tで前年同期比13.1%減少するも、単価の大幅上昇に伴い金額は43億1百万円で前年同期比17.9%増加。

④コマイ漁（野付・標津 各年1～3月）

	数量(t)	金額(百万円)	単価(円/kg)
R 5	258	9	35
R 4	194	25	129

酪農：◎根釧管内生乳生産は、137万tで前年比3.0%減少。 ※生乳生産量はホクレン調べ

根釧管内生乳生産量

年度別	数量(t)	前年比
R 4	1,374,039	▲3.0%
R 3	1,417,218	+3.5%
R 2	1,368,539	+1.1%
R 1	1,352,575	+2.5%

生乳生産（R4年度）

・R4年度根室・釧路管内生乳生産量は1,374千tと前年比3.0%減少。生乳生産抑制によるもので、4年ぶりの減少。地区別では、道東全地区で前年比減少、根室地区および十勝地区・北網地区においては減少率が3.5%超となり、生産抑制や駄牛淘汰、経営環境悪化に伴う離農の顕著な増加が要因とみられる。
 ・R4年度は生乳需給の悪化に加え、生産コストの大幅な高騰、個体販売価格の暴落等が酪農経営を圧迫する中、乳価引き上げや国の支援策が幾度か投じられたものの不足感は否めず、新年度は更なる手厚い施策が望まれる。

地区別	数量(t)	前年比
全道	4,038,033	▲2.3%
十勝	1,303,782	▲1.6%
北網	601,416	▲3.5%
根室	845,887	▲2.6%
釧路	528,152	▲3.6%

今後の需給動向等

・R4年度は生産抑制の継続的な取り組みの効果が現れ、バターや脱脂粉乳の過大在庫が大きく減少。R5年度は、4月から乳製品価格が引き上げられ消費動向が不透明な状況下で、減産体制の継続が求められている。今後の需給動向については注視する必要がある。

○R4年度根室管内月別伸び率(前年同月比・%)

R 4	10月 ▲3.7%	11月 ▲5.4%	12月 ▲5.9%
R 5	1月 ▲6.1%	2月 ▲5.6%	3月 ▲5.5%

家畜取引：◎根室市場は取引頭数で前年同期比0.2%増加、金額は同19.1%減少。別海市場の取引頭数は前年同期比10.2%減少、金額は同35.8%減少。

□根室市場取引高

年度別	取引頭数(頭)	前年比	金額(百万円)	前年比	単価(千円)
R 4	46,503	+0.2%	9,002	▲19.1%	193
R 3	46,408	+3.0%	11,137	▲2.9%	240
R 2	45,015	+7.6%	11,470	▲0.7%	298

□別海市場取引高

年度別	取引頭数(頭)	金額(百万円)
R 4	8,273	1,004
R 3	9,215	1,565
前年比	▲10.2%	▲35.8%

□種類別価格(根室市場)

	10月	11月	12月	R5/1月	2月	3月
初生ホルスタイン牡 (単位：千円)	6.7	10.8	11.9	15.8	31.9	32.3
肉牛ホルスタイン経産牛 (単位：千円)	114.4	99.8	85.4	147.2	164.5	165.2

貿易：◎輸入額が63.6%増加、輸出額は減少するも総額では63.2%増加。(R5年1～3月貿易実績・根室税関支署発表・()内前年同期比)

【総額】36億57百万円(+63.2%)…外国貿易船の入港隻数153隻(前年同期比+41隻)

【輸出】11百万円(▲13.8%)…冷凍魚介類 実績なし 一般機械8百万円(4.0倍)

【輸入】36億46百万円(+63.6%)…生鮮魚介類34億49百万円(+57.2%)、冷凍魚介類1億96百万円(5.9倍)

・輸出…一般機械が増加するも、その他減少により全体として減少。

・輸入…生鮮魚介類、冷凍魚介類が増加したため、全体として増加。

根釧の経済概況（令和5年3月末基準）：釧路地区

◎釧路港はスケソの水揚げ減少により前年同期比数量・金額ともに大幅減少。厚岸港ではあさがり単価上昇に伴い数量は前年同期比減少するも金額は同増加。

①釧路港総水揚げ(各年1～3月)

全体				
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R 5	7,642	▲46.7%	917	▲14.8%
R 4	14,338	+6.6%	1,076	+8.1%
R 3	13,446	▲15.0%	995	▲9.5%
R 2	15,823	+67.8%	1,099	▲0.2%
R 1	9,429	▲12.7%	1,101	▲13.9%

(うち、スケソ)					
	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減	単価(円/kg)
	4,054	▲67.9%	316	▲51.4%	78
	12,644	+11.3%	651	+13.8%	51
	11,359	▲14.6%	572	▲17.6%	50
	13,308	+97.2%	695	+18.6%	52
	6,747	▲20.2%	586	▲6.7%	87

②釧路港魚種別水揚げ(R5年1～3月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
スケソ	4,054	▲67.9%	316	▲51.4%
マダラ	2,050	+40.7%	374	+9.8%
ホッケ	1	▲85.7%	0.3	▲90.0%
イカ	17	+54.5%	3	+44.1%
カレイ類	523	6.1倍	63	3.1倍
赤物	22	3.1倍	42	4.1倍
その他	975	7.6倍	116	2.4倍

③厚岸港水揚げ(各年1～3月)

	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
R 5	826	▲0.6%	591	+3.9%
R 4	832	▲7.8%	569	+14.4%

④厚岸港魚種別水揚げ(R5年1～3月)

主な魚種	数量(t)	前年比増減	金額(百万円)	前年比増減
あさがり	167	▲27.7%	155	▲30.9%
かき	177	+28.2%	212	+77.5%
つぶ	5	2.8倍	10	4.7倍

【釧路港水揚げ】

- ・1～3月全体の水揚げは、数量7,642tで前年同期比46.7%減少、金額は9億17百万円で同14.8%減少。
- ・主力のスケソが数量4,054tで前年同期比▲67.9%と大幅減少した一方、カレイ類は数量523tで同+515.2%と大きく増加。
- ・マダラは数量が+40.7%と大幅増加した一方、単価が234円/kgから183円/kgと下落し、金額は9.8%の増加に留まる。

【厚岸港水揚げ】

- ・1～3月全体の水揚げは、数量826tで前年同期比0.6%の減少。金額は591百万円で同3.9%増加。
- ・魚種別で見ると、あさがりは数量167tで前年同期比27.7%減少、金額は同30.9%減少。
- ・かきは数量前年同期比28.2%の増加、金額は単価が865円/kgから1,198円/kgと大きく上昇したことに伴い同+77.5%と大きく増加。つぶも、数量が前年同期比2.8倍、金額が4.7倍と数量・金額ともに大幅増加。

製紙：◎市内製紙工場のR5年1～3月生産量は、前年同期比5%減少。

※日本製紙釧路工場撤退に伴い、生産量の前年同期比のみのお知らせに変更しております。

観光：◎R4年度の観光入込客数は3,809千人で前年比38.3%増加。 ※peachは集計対象外

- ・航空（道外）213千人（前年比+71.3%）阿寒湖遊覧船 51千人（同+42.8%）
- ・MOO 493千人（同+35.4%）湿原展望台 67千人（同+82.7%）丹頂鶴自然公園 35千人（同+110.0%）

貿易：◎輸入額が63.7%増加、輸出額は減少するも総額では58.5%増加。(R5年1～3月貿易実績・釧路税関支署発表・())内前年同期比)

【総額】 495億45百万円(+58.5%)・・・釧路港外国貿易船入港隻数88隻(前年同期比+2隻、+2.3%)

【輸出】 24億65百万円(▲1.3%)・・・鉄鋼くず、紙類・同製品が増加するも魚介類・同調整品、動物性油脂の減少により総体として前年比やや減少。

魚介類・同調整品4億69百万円(▲5.1%)、鉄鋼くず10億30百万円(+17.5%)、動物性油脂3億73百万円(▲8.7%)
紙類・同製品 4億88百万円(+8.1%)

【輸入】 470億80百万円(+63.7%)・・・魚介類・同調整品、米、石炭、肥料の増加により前年同期比増加。

魚介類・同調整品16億38百万円(+84.2%)、米35億31百万円(+59.3%)、石炭90億53百万円(5.1倍)、肥料111億28百万円(+97.9%)

全国・全道の経済概況（令和5年3月末基準）

全国

◎R4年度4～3月は860千戸で前年比0.5%減少。利用別内訳をみると、貸家、給与、分譲は前年比増加、持家は同減少。

月別		着工戸数(戸)	前年比
R5年	3月	73,693	▲3.1%
R5年	2月	64,426	▲0.2%
R5年	1月	63,604	+6.5%
R4年	12月	67,249	▲1.6%
R4年	11月	72,372	▲1.4%
R4年	10月	76,590	▲1.8%

着工戸数(戸)		前年比		
R4年4~3月計	860,828	▲0.5%		
内訳	持家	▲11.7%	貸家	+5.0%
	給与	+4.1%	分譲	+4.4%

◎R4年度は21兆5,422億円で前年比7.2%の増加。工事請負契約額は月別にみると、R4年度下期は3月以外すべての月で前年同期比増加。

月別		工事請負契約額(億円)	前年比
R5年	3月	34,439	▲0.3%
R5年	2月	20,885	+80.1%
R5年	1月	11,173	+13.9%
R4年	12月	15,488	+19.4%
R4年	11月	13,076	+6.7%
R4年	10月	17,405	+12.7%

年別		工事請負契約額(億円)	前年比
R4年度	215,422	+7.2%	
R3年度	200,989	▲7.1%	
R2年度	216,439	-	

◎R4年度倒産件数は6,799件で前年比883件増加。負債額は2兆3,385億91百万円と前年比1兆1,557億20百万円増加。

年別推移		(金額単位：億円)		
(各年度)	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R4年度	6,799	+14.9%	23,385	+97.7%
R3年度	5,916	▲19.1%	11,828	▲2.8%
R2年度	7,314	▲13.8%	12,174	▲0.1%
R1年度	8,480	+5.3%	12,187	▲21.6%
H30年度	8,057	▲2.8%	15,548	▲40.0%
H29年度	8,285	+1.6%	25,932	+33.2%

◎R4年度上期の延宿泊客数は3,288千人で前年同期比36.8%増加。国籍別ではアメリカが21%と最も多く、次いで中国、韓国と続く。

※新型コロナウイルス感染症の影響によりR1年度は調査中止

R4年度上期 月別推移			R4年度上期 国籍別		
月	(千人)	前年比	国籍	(千人)	シェア
9月	687	+135.0%	アメリカ	696	21%
8月	590	▲3.6%	中国	315	10%
7月	563	▲28.2%	韓国	239	7%
6月	498	+103.0%	ベトナム	154	5%
5月	522	+118.6%	フィリピン	104	3%
4月	426	+86.8%	タイ	89	2%
上期計	3,288	+36.8%	シンガポール	87	2%
年別別推移(4~9月)			ドイツ	84	2%
R3年度	2,402	+155.2%	その他	1,520	46%
R2年度	941	-	上期合計	3,288	100%

全道

◎R4年度4～3月は29,576戸で前年比7.8%減少。利用別内訳をみると、持家、給与、分譲、貸家の全てにおいて同減少。

月別		着工戸数(戸)	前年比
R5年	3月	2,491	±0.0%
R5年	2月	1,224	▲10.5%
R5年	1月	1,033	▲7.4%
R4年	12月	1,987	▲4.9%
R4年	11月	2,407	▲17.9%
R4年	10月	2,657	▲12.6%

着工戸数(戸)		前年比		
R4年4~3月計	29,576	▲7.8%		
内訳	持家	▲18.2%	貸家	▲1.9%
	給与	▲10.6%	分譲	▲0.9%

◎R4年度は9,434億円で前年比7.1%減少。発注機関別にみると、地方公社以外はすべての月で前年同期比減少。

年別		前払保証請負額(百万円)	前年比
R4年度	943,425	▲7.1%	
R3年度	1,015,121	▲3.2%	
R2年度	1,048,517	+4.0%	
R1年度	1,007,728	+9.6%	

発注機関別 (R4年度4~3月)		前払保証請負額(百万円)	前年比
国	279,167	▲14.1%	
道内市町村	251,894	▲4.9%	
道	224,972	▲4.3%	
独立行政法人等	91,845	▲10.5%	
地方公社	781	+85.5%	

◎R4年度倒産件数は206件で前年比64件、45.1%増加。負債額は、総額313億64百万円と前年比120億64百万円増加。

年別推移		(金額単位：百万円)		
(各年度)	件数(件)	前年比	負債額	前年比
R4年度	206	+45.1%	31,364	+62.5%
R3年度	142	▲16.0%	19,300	▲6.9%
R2年度	169	▲15.9%	20,738	▲37.0%
R1年度	201	▲5.6%	32,896	+52.2%
H30年度	213	▲16.5%	21,609	▲70.0%
H29年度	255	▲4.9%	72,064	+114.0%

◎R4年度上期の延宿泊客数は64,980人と前年同期比58.8%増加。国籍別に見ると、韓国が20%と最も多く、次いでアメリカ、中国と続く。

※新型コロナウイルス感染症の影響によりR1年度は調査中止

R4年度上期 月別推移(端数省略)			R4年度上期 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	16,410	+258.2%	韓国	12,810	20%
8月	19,250	+52.1%	アメリカ	10,730	16%
7月	12,750	▲18.3%	中国	5,330	8%
6月	7,270	+226.0%	ベトナム	2,460	4%
5月	6,470	+121.5%	シンガポール	2,190	3%
4月	2,830	▲2.4%	香港	2,090	3%
上期計	64,980	+58.8%	タイ	1,950	3%
年別別推移(4~9月)			フィリピン	1,710	2%
R3年度	40,900	+86.6%	その他	25,710	39%
R2年度	21,910	-	上期合計	64,980	100%

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

根釧の経済概況（令和5年3月末基準）

住宅着工戸数

公共工事請負高

企業倒産動向

訪日外国人延宿泊客数

根室

◎R4 年度 4～3 月は 78 戸で前年比 4.0% の増加。利用別内訳をみると、持家、分譲が前年比増加し貸家、給与が同減少。

□根室市住宅着工戸数

月別			
	戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R4年4~3月計	78	+3	+4.0%
R5年 3月	1	▲2	▲66.6%
R5年 2月	20	+17	6.6倍
R5年 1月	12	+11	12倍
R4年 12月	1	▲1	▲50.0%
R4年 11月	6	+0	0.0%

年別・利用別							
	持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比(戸)	
R4年度 4~3月	70	4	0	4	78	+3	
R3年度 4~3月	57	11	7	0	75	+14	
R2年度 4~3月	37	24	0	0	61	+1	

◎R4 年度は 241 億 93 百万円で前年比 0.6% の増加。工事種類別でみると、主要工事である一般土木で前年比 2.4% 増加、舗装が同 38.5% 増加。それ以外は前年比減少。

年別		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R4年度	24,193	+0.6%
R3年度	24,035	▲11.5%
R2年度	27,166	▲9.2%
R1年度	29,912	+23.6%

工事種類別 (R4年度4-3月計)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
一般土木	15,463	+2.4%
舗装	1,667	+38.5%
建築	3,597	▲5.0%
電気	1,180	▲6.2%
管	351	▲34.5%

◎R4 年度根室管内倒産件数は 3 件、負債額 379 百万円と件数・金額ともに前年比増加。根室市では倒産 2 件、負債額 64 百万円。

各年度	【根室管内】		【うち根室市】	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R4年度	3	379	2	64
R3年度	1	13	0	0
R2年度	8	2,065	1	22
R1年度	2	213	1	115
H30年度	4	166	1	42
H29年度	11	6,791	5	4,239

◎R4 年度上期の延宿泊客数は、494 人で前年同期比 112.0% 増加。国籍別にみると、中国が 48% と最も多く、次いでアメリカ、韓国、ベトナム、イギリスと続く。

R4年度上期 月別推移			R4年度上期 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	163	+167.2%	中国	239	48%
8月	89	+8.5%	アメリカ	67	14%
7月	46	+58.6%	韓国	25	5%
6月	73	+630.0%	ベトナム	17	3%
5月	67	+148.1%	イギリス	16	3%
4月	56	+133.3%	台湾	14	2%
上期計	494	+112.0%	ドイツ	10	2%
年度別推移(4~9月)			その他	106	21%
R3年度	233	▲26.2%	上期合計	494	100%
R2年度	316	▲93.2%			

釧路

◎R4 年度 4～3 月は 462 戸で前年比 23.7% の減少。利用別内訳をみると、持家、貸家、給与、分譲のすべてにおいて前年比減少。

□釧路市住宅着工戸数

月別			
	戸数(戸)	前年比(戸)	前年比
R4年4~3月計	462	▲144	▲23.7%
R5年 3月	1	▲20	▲95.2%
R5年 2月	20	▲5	▲20.0%
R5年 1月	12	▲12	▲50.0%
R4年 12月	40	+1	+2.5%
R4年 11月	60	+17	+39.5%

年別・利用別							
	持家	貸家	給与	分譲	合計	前年比(戸)	
R4年度 4~3月	269	145	1	47	462	▲144	
R3年度 4~3月	345	202	7	52	606	▲38	
R2年度 4~3月	324	247	3	70	644	▲77	

◎R4 年度は 414 億 26 百万円で前年比 5.8% の減少。工事種類別でみると、主要工事である一般土木で前年比 12.3% 減少、建築で 8.8% 減少。舗装、電気、管は増加。

年別		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
R4年度	41,426	▲5.8%
R3年度	43,979	▲13.1%
R2年度	50,663	+7.8%
R1年度	46,981	+4.8%

工事種類別 (R4年度4-3月計)		
	前払保証請負額(百万円)	前年比
一般土木	23,700	▲12.3%
舗装	1,924	+42.4%
建築	5,995	▲8.8%
電気	2,392	+10.8%
管	1,033	+5.0%

◎R4 年度釧路管内倒産件数は 11 件と前年より 2 件増加、負債額 28 億 95 百万円と前年比 10 億 8 百万円増加。うち釧路市は件数 7 件、負債総額 19 億 14 百万円と件数、負債額ともに増加。

各年度	【釧路管内】		【うち釧路市】	
	件数	負債額(百万円)	件数	負債額(百万円)
R4年度	11	2,895	7	1,914
R3年度	9	993	8	906
R2年度	11	933	5	374
R1年度	12	1,524	8	850
H30年度	12	631	9	562
H29年度	20	2,010	17	1,862

◎R4 年度上期の延宿泊客数は、1,959 人で前年同期比 88.7% 増加。国籍別にみると、ベトナムが 12% と最も多く、次いでアメリカ、中国と続く。

R4年度上期 月別推移			R4年度上期 国籍別		
月	(人)	前年比	国籍	(人)	シェア
9月	705	+238.9%	ベトナム	230	12%
8月	383	+13.6%	アメリカ	140	7%
7月	381	+63.5%	中国	110	5%
6月	216	+125.0%	フランス	34	2%
5月	112	+6.7%	台湾	33	2%
4月	162	+174.6%	韓国	30	2%
上期計	1,959	+88.7%	フィリピン	25	1%
年度別推移(4~9月)			その他	1,357	69%
R3年度	1,038	▲11.7%	上期合計	1,959	100%
R2年度	1,176	▲98.5%			